

## 『地域に学ぶ私の未来予想図』

2011年4月1日  
横須賀市立不入斗中学校  
担当： 齊藤 民夫

### 1. テーマ

職場体験を軸とした自分の将来への展望

### 2. 実施月日

2011年4月15日(金)～2012年3月2日(金)

### 3. ねらい

- (1) 職場体験学習や「中学生“自分再発見”プロジェクト」により新たにカリキュラムに組み込まれた様々なスキームを通し、働く人々の姿や実体験を伴う生きた話を直接見聞させることにより、生徒たちに自分の将来へ向けた夢や新たな気づきを与え、※1望ましい職業観や勤労観を育成する。

#### ※1 望ましい職業観や勤労観の育成

最近の若者の就業状況は非常に厳しい状況にある。その原因は不況に基づく求人難の問題ばかりではなく、彼らの職業観・勤労観の未熟さや高い早期離職率、安易なフリーター志向の高まりやニート問題等が指摘されている。「2年総合的な学習の時間」の年間計画立案にあたり、横須賀商工会議所や地域社会の協力を得ながら、MTT（マイタリティーチャー）との関わりや職場体験といった社会体験を学習活動の中核に適切に位置づけ、望ましい職業観や勤労観の育成を図ることが中学生の彼らに必須なものであらうと判断した。

※MTT＝マイタリティーチャー＝横須賀で働く大人はすべて子ども達の先生

- (2) 自分の興味や適性・能力を自覚（“気づき”）し、彼らに自分の進路を主体的に「切り拓く力」を育成する。
- (3) 自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決するための資質や能力（※2『活動的知性』）を身につけ、問題解決や探究活動に主体的・創造的に取り組むことができる生徒を育成する。

#### ※2 活動的知性（performance）

企画力、学習課題構成力、問題解決力、学び方、コミュニケーション力、協力・協同学習力、表現力、実践力、思考技能（関連づけ、普遍化） 等

### 4. 内容

4年目を迎える「中学生“自分再発見”プロジェクト」を本年度も引き続き活用していく。これはフリーターやニート問題の解決へ先手を打ち、人口減少社会に突入した横須賀市の「将来の産業界を担う人材育成」を主眼とし、横須賀商工会議所・横須賀市・市教育委員会と連携して市内中学生の学習意欲を高め職業観・勤労観を高めるために企画した教育プログラムである。横須賀市教育委員会は今後、この取り組みを徐々に拡大させていくという意向をもっている。実施する学校が変われば、学校規模やこれまでの取り組みの流れ、生徒・地域の状況…等々、それぞれの学校事情に応じて大きくプログラムを書き換える必要がでてくる。本年度は自校の取り組みの充実は勿論のことであるが、様々な状況下でのプログラムの実施についても念頭に置き、研究を推進していく。

## 『中学生“自分再発見”プロジェクト』に関連した本年度の活動予定

基本的には昨年度実施したプログラムを継承し、その時々々の状況を踏まえ、若干の手直しをしていく形で活用していく。具体的には、第1回から第3回までの取り組みは、生徒の職業に対するイメージをふくらませ、意識づけや事前準備として企画し、第4回から第5回までの取り組みについては、職場体験へ向け、各自の課題を踏まえ、事業所に対し発信することができるような生徒の育成を目指して企画する。

本校の特色は、**MTT**（若手社員）を招き、職場体験を通して生徒が経験した疑問や矛盾を解決する等、講師と生徒との距離を縮め、精神的な関わりを通して生徒の成長を図る点にある。

### 5. 方法と手だて

- (1) 基本的には学級を単位として活動し、必要に応じて職場体験先事業所や各生徒の興味・関心に応じたテーマ別グループをつくり、併用するかたちで取り組む。
- (2) 外部講師との関わりや職場体験といった地域の教育力を最大限に取り込んだ社会体験を学習の軸としてカリキュラムの中核に位置づけ、直接的な体験を通して望ましい職業観・勤労観の育成を図るような学習形態を基本に、その時々々の生徒の学びに応じて発展的にカリキュラムを書き換えていく。
- (3) 「中学生“自分再発見”プロジェクト」関連の授業についても、カリキュラムの作成はあくまで学校側の主導で行い、月1回のペースで開かれる「プロジェクト準備委員会」の中で、学校側から提示する要望を受け、よこすかキャリア教育推進事業の事務局が外部機関との交渉にあたり、実現していくといったスタンスで本年度も行っていく。

#### (4) 不入斗中学校の『総合的な学習の時間』評価観点

- |     |                                  |
|-----|----------------------------------|
| 観点1 | 自らの課題を見つけることができる。                |
| 観点2 | 問題解決や探求活動に主体的、創造的に取り組むことができる。    |
| 観点3 | 解決や探求の過程や結果についてまとめ、わかりやすく発表できる。  |
| 観点4 | 成果について考察し、自己の生き方と関連づけて考えることができる。 |

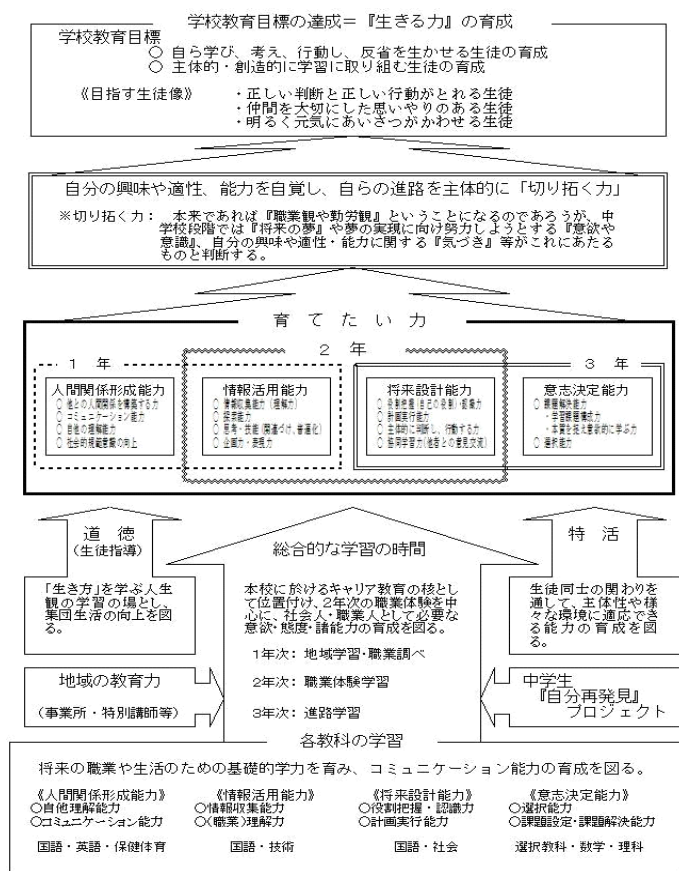
#### (5) 2年評価規準

|     | 各評価観点が達成されたと考えられる生徒の具体的な活動例                                                                                                                                                                                         |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観点1 | ○全体テーマを的確にとらえ、自分の興味・関心に即した学習テーマを見つけることができる。<br>○自らの興味・関心・適性を自覚し、主体的に職場体験先を決定することができる。<br>○職場体験へ向けて、自らの課題を見出すことができる。                                                                                                 |
| 観点2 | ○自らの学びをふり返り、再構成する中で、学ぶ根拠をはっきりと自覚しながら発展的に自分の学習テーマを変更することができる。<br>○適切な問題解決の方法を自ら選択し、計画的に学習することができる。<br>○自己の学習の全体像をしっかりとらえ、問題解決に向けて主体的に考え、判断し、より良く解決することができる。<br>○様々な情報の獲得手段を効果的に活用しながら、自らの学習テーマに即して主体的に探求活動を行うことができる。 |

|             |                                                                                                                                                                                                                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観<br>点<br>3 | ○学習の成果や自らの職業観の変容を分析的にとらえ、分かり易く報告書としてまとめることができる。<br>○資料を上手に活用し、論理的で説得力に富む発表を行うことができる。<br>○聞き手に理解されるように発表や表現の仕方を工夫をし、発表することができる。                                                                                 |
| 観<br>点<br>4 | ○職場体験を通して自分の適性を自覚し、学習の成果を自らの進路と関連づけてとらえることができる。<br>○学習内容から問題の所在を明確に指摘し、外部に向けた提言へと発展させることができる。<br>○学習を通して他者の様々な意見や考えに触れ、野放図に受け入れてしまうのではなく、自身自身の価値観と照らし合わせながら考察することができる。<br>○自分を地域や社会の一員として自覚し、学習の成果を考察することができる。 |

本校が推進するキャリア教育は、右図「不入斗中学校『キャリア教育』構想図」のように、各教科の学習により育まれる将来の職業や生活のために必要な4つの基礎学力（能力）《「人間関係形成能力」、「情報活用能力」、「将来設計能力」、「意志決定能力」》を土台に、総合的な学習の時間（1年次：地域学習、2年次：職場体験学習、3年次：進路学習）をキャリア教育の中核として位置づけ、地域の教育力（事業所・特別講師等）や前述の「中学生“自分再発見”プロジェクト」、道徳（生徒指導を含む）、特別活動（日常生活を含む）を通して、1年次では人間関係形成能力・情報活用能力を、2年次では情報活用能力・将来設計能力を、3年次では将来設計能力・意志決定能力を中心的な課題に据え、着実にそれらの力を強化していこうとするものである。これらの能力の習得により、生徒は自分の興味や適性を自覚し、自らの進路を「切り拓く力」を身につけていく。

横須賀市立不入斗中学校『キャリア教育』構想図



## 6. 指導の手順と日程

| 月日時           | テーマ                   | 学習内容                                                                 | 事務局・MTT      |
|---------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------|
| 4月15日         | 【第1回プロジェクト授業】<br>始めの会 | ・年間の指導内容について                                                         | 事務局の訪問<br>支援 |
| 5月            | 職業調べ                  | 【ねらい】<br>生徒のもつ稚拙な職業観を刺激し、今後の学習へ向け、関心・意欲を育む。<br>・職業に対して内容や資格・進路等を調べる。 |              |
| 6月3日<br>5.6校時 | 「第2回プロジェクト授業」事前指導     | 「第2回プロジェクト授業」事前指導                                                    |              |

|                 |                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                |
|-----------------|-------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 6月10日<br>5.6校時  | 【第2回<br>プロジェクト授業】<br>仕事から学ぶ         | 【ねらい】<br>仕事に触れ、体験することにより、働くことの大変さや仕事の仕組みを知り、<br>職業観の醸成を図る。<br>【内容】<br>自動車整備士、美容師、飲食業等、地元の事業所・専門学校の協力を得て、<br>生徒は全2回、約10のプログラムの中から自らの意志で絞り込んだ2業種を<br>直接体験し、特別講師の先生方から「プロの技」を伝授される。                                                                                                               | MTT派遣①         |
| 6月17日<br>5.6校時  | 【第3回<br>プロジェクト授業】<br>仕事から学ぶ         | ※日程・内容は6/10(金)の「第2回プロジェクト授業」を準用する。                                                                                                                                                                                                                                                             | MTT派遣②         |
| 7月1日<br>5.6校時   | まとめ                                 | 「第2回・第3回プロジェクト授業」のまとめ                                                                                                                                                                                                                                                                          |                |
| 7月              | 働く人から学ぼう                            | ・働く人にインタビューをして仕事の内容等の学びを深める。                                                                                                                                                                                                                                                                   |                |
| 11月<br>12月      | 職場体験<br>事前準備                        | 1 受け入れ先事業所の方々の心意気、自分の立場・自分がすべきこと等<br>2 職場体験先の事業所の提示・簡単な業務内容の説明・希望体験先調査<br>・依頼状・自己紹介書の作成                                                                                                                                                                                                        |                |
| 12月16日<br>5.6校時 | 【第4回<br>プロジェクト授業】<br>社会人のマナーを<br>学ぶ | 【ねらい】<br>今後行われる職場体験に向け、社会人としてのマナーについて意識<br>付ける。<br>【内容】<br>「本格的なビジネスマナー研修」を学年一斉に受講する。<br>事業所MTTのテキストを基に、講師と商工会議所事務局員による運<br>営で、学年生徒全員を対象に一斉授業形式で「マナー研修会」を実施する。<br>○実演・ロールプレイをベースとした内容とする。<br>○教師・代表生徒による実演とその考察、生徒同士による演習を行う<br>○あいさつ、所作(お辞儀、礼)、電話対応、接客対応、等を実施する<br>※当日のテキストは商工会議所側で印刷、当日持ち込む。 | マナー研修<br>MTT派遣 |
| 1月              | 事業所訪問<br><br>最終確認                   | ・事業所への事前訪問・挨拶 : 事前に解決すべき課題の把握<br><br>最終確認: 当日の流れ、安全指導、言葉使い・礼儀作法等の指導・練習等                                                                                                                                                                                                                        |                |
| 1月<br>24～26日    | 職場体験                                | 職場体験                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                |
| 2月3日<br>5.6校時   | 事後指導①                               | 事後のまとめ1: 体験報告書の作成                                                                                                                                                                                                                                                                              |                |
| 2月10日<br>5.6校時  | 【第5回<br>プロジェクト授業】<br>効果検証           | 【ねらい】<br>『中学生“自分再発見”プロジェクト』により仕掛けた様々なスキームや職業体<br>験を含めた今年一年の取り組みが、生徒の望ましい職業観・勤労観の育成にど<br>れだけ効果的に作用したか、その教育的効果の有無を検証する。<br>【内容】<br>MTTを学校へ招き、生徒を相手に「職場体験報告書」をもとにグループディ<br>スカッションを行い、その言動から効果の有無を見取っていく。<br><br>終了後MTTと担任・学年教師との学びについての交換                                                         | MTT派遣③         |
| 2月              | 事後指導②                               | ・礼状の作成<br>・礼状・体験報告書を持って、事業所ごとにお礼に行く。                                                                                                                                                                                                                                                           |                |
| 3月2日<br>5.6校時   | 学級報告会                               | 「職場体験」学級報告会                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                |